

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

18471

在住外国人支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	9 8	体系外
政策	9 8	体系外
施策	9 8	体系外
取組方針	9 8	体系外

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	国際交流費		
	大事業	国際交流事業		
	中事業	在住外国人支援事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課	千崎 晃伸 435-1010
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 在住外国人の安全性及び生活の利便性を高める。		全体事業概要 在住外国人を対象に、日本語教室及び防災講座等の実施並びに生活情報等の情報発信を実施する。			
	事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
在住外国人のための日本語教室 在住外国人のための防災講座 在住外国人向けのニュースレターの作成等 ※令和2年度までは総務費		在住外国人のための日本語教室 在住外国人向けのニュースレターの作成等 ※令和3年度から商工費	在住外国人のための日本語教室 在住外国人向けの防災講座 在住外国人向けのニュースレターの作成等	在住外国人のための日本語教室 在住外国人向けの防災講座 在住外国人向けのニュースレターの作成等	在住外国人のための日本語教室 在住外国人向けの防災講座 在住外国人向けのニュースレターの作成等	在住外国人のための日本語教室 在住外国人向けの防災講座 在住外国人向けのニュースレターの作成等

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	850	731	846	614	846	1,345	1,337	0	1,337	0
伸び率(%)	0%	0%	△0.5%	△16%	0%	119.1%	58%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,017	4,857	3,957	3,026	2,917	748	5,311	0	5,311
	正規職員以外	824	824	872	872	863	227	863	0	863
	小計	5,841	5,681	4,829	3,898	3,780	975	6,174	0	6,174
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	850	731	846	614	846	749	1,337	0	1,337	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	596	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.63	0.61	0.51	0.39	0.39	0.10	0.71	0.00	0.71
	正規職員以外	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.10	0.38	0.00	0.38
主な予算内訳	報償金510千円、通信運搬費252千円等									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	防災講座開催回数	回	目標値	3	3	3	3
			実績値	1	0	3	
			達成度(%)	33%	0%	100%	%
成果指標	防災講座参加延べ人数	人	目標値	100	100	100	100
			実績値	6	0	73	
			達成度(%)	6%	0%	72%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	大規模災害に備えて、在住外国人の防災に対する認識・意識を高めてもらうために防災講座を実施しており、在住外国人の安全性を確保するという観点から今後においても当該事業を継続・維持して実施して行っていく必要があり、他の事業も在住外国人の生活を支援するために必要不可欠と考える。
見直し・改善内容	防災講座の内容を充実させ、避難場所等の防災情報を在住外国人に周知徹底できるような方策をさらに検討する。 外国人労働者増加の状況に応じた事業拡充の必要性を検討する。